

＜平成 26 年度＞

地域振興部の運営方針

地域振興総務課 産業振興課
生涯学習課 農政課
文化振興課

■ 基本情報 ■

＜担当事務＞

- (1) 都市交流及び観光に関すること。
- (2) 文化振興に関すること。
- (3) 生涯学習の推進に関すること。
- (4) 商工業及び雇用対策、就労支援に関すること。
- (5) 農業に関すること。

＜部の職員数＞H26 年 4 月 1 日現在

正職員	61 名
再任用職員	19 名
任期付職員	- 名
非常勤職員	55 名
合計	135 名

※他団体等への派遣職員、臨時職員を除く

■ 基本方針 ■

地域振興部は機構改革により、文化、生涯学習と農業・商業・工業・観光の産業を担当する部署に集約されました。いずれもまちの活性化と魅力づくりに欠かせない分野であり、市民や関係団体、事業者等との連携を一層密にし、事業効果を最大限発揮できるよう努めるとともに、中・長期的な視点に立った先行投資にも取り組んでいます。

市内産業の振興については、地域での雇用創出や税収の確保の面からも重要であり、新たな産業の創出に向けた取り組みを継続するとともに、まちづくりの観点から農業・農地の保全に取り組めます。

文化の分野では、文化芸術の振興とともに、まちの魅力向上とにぎわいづくりに向け、拠点施設の整備に着実に取り組めます。

生涯学習の推進については、複合施設における利用者サービスの向上と効率的な管理運営を図るための取り組みを進めます。

I 重点施策・事業

◆産・学・医療・福祉の連携による新たな医療産業の創出と産業振興に向けた施策の検討

従来の新産業創出支援に加え、医療・福祉分野の関連ビジネスの支援を拡充することで分野間連携を推進し、都市ブランド「健康・医療都市」の産業面からの確立をめざします。

また、企業誘致や創業支援等、産業振興に向けて、ニーズを踏まえた効果的な施策の企画立案に取り組めます。

◆農業後継者の育成と農地の保全

都市農業ひらかた道場の開設による研修の実施

都市農業ひらかた道場を 4 月 1 日に開設し、農業後継者の育成に取り組めます。具体的には、実地研修を担当する協力農業者組織「ひらかた農業師範の会」等と連携し、第 1 期生 3 名を対象に都市農業の経営に必要な実技と講義による研修を実施します。また、農業経営の基盤となる農地確保に向けた情報収集を進め、本市での円滑な就農と定着化に向けた支援策を構築し、農業後継者育成の取り組みを推進します。

被災農地等復旧対応方針の策定

台風や大雨により２年続きで農地・農業用施設に甚大な被害が生じている中で、被災した農地等に対し、迅速かつ適切な復旧を促すため、市としての支援のあり方等をまとめた新たな対応方針を策定します。今夏の災害の備えとしては、平成２６年６月に人員体制や民間活力の導入などを内容として暫定対応措置を取りまとめ、７月から運用を開始します。その運用状況等を検証の上検討を進め、平成２６年度中に対応方針（案）を策定し、２７年５月の本格運用をめざします。

◆文化芸術の拠点整備に向けた取り組み

総合文化施設の整備

文化芸術の拠点整備に向け、総合文化施設の整備計画を策定します。施設の整備に向けては、民間のノウハウを導入するため、プロポーザル方式により事業者を選定し、設計に着手します。また、新たな文化芸術の創造・発信等を踏まえ、総合文化施設における維持管理・運営に関する運営計画の策定に向けた取り組みを進めるとともに、国の補助金やネーミングライツなどによる財源の確保に努めます。あわせて、現在、本市の文化芸術振興に係る具体的事業を担っている（公財）枚方市文化国際財団について、今後のあり方を検討します。

市民からの寄贈による美術館の整備

市民からの寄贈による美術館については、市民ギャラリー等の美術施設との役割、機能分担を図りながら、魅力ある事業の展開による集客や効率的な管理運営の観点进行踏まえ、平成２７年度開館に向けた準備を進めます。

◆文化芸術振興計画の策定

市民が優れた文化芸術に触れる機会の充実と主体的に文化芸術活動が行える環境を整備するため、枚方市文化芸術振興条例（平成２６年４月１日施行）の規定に基づき、枚方市文化芸術振興計画の策定に取り組めます。本計画の検討にあたっては、枚方市文化芸術振興審議会を設置し調査・審議を進め、平成２８年度中の策定をめざします。

◆生涯学習施設と図書館の効率的な管理運営について

今後の生涯学習推進についての基本的な考え方・指針を確立していく中で、生涯学習施設と図書館の複合施設については、市民サービス向上と効率性の観点から指定管理者制度の導入に向けて準備を進めます。平成２６年度は、美術施設を有する生涯学習施設の専門性の確保等の課題を整理するとともに、市民との協働による生涯学習事業のあり方について検討します。

Ⅱ 行政改革・業務改善

<行政改革実施プラン（前期）の改革課題>

改革課題	取り組み内容・目標
28. 生涯学習施設と図書館の効率的な管理運営	指定管理者制度導入に向け、課題を抽出し、解決策を検討する。
29. 外郭団体等における中期的な「経営プラン」の策定	枚方文化観光協会及び文化国際財団において、平成２６年度にプランの骨子をまとめていただき、２７年度中の中期的経営プラン策定を促す。
48. 新たな産業振興策の推進と雇用創出の仕組みづくり	情報交換会を含む連携の仕組み構築と産学の相互理解を進める。

<事務事業総点検に係る対応>

事務事業	取り組み内容・目標
国内友好都市交流推進事業	友好都市別海町と本市の中学生が相互訪問し交流する事業について、事業実施後に交流体験を披露する場を設けるなど、都市交流の成果の発信を行う。
文化振興事業	文化振興事業については、事務事業のあり方を含め整理統合するなど検討を行う。

<業務改善のテーマ・目標>

テーマ	取り組み内容・目標
満足度の高い窓口対応	引き続き接遇研修を実施するなど接遇能力を高め、市民や事業者への対応を円滑に行い、満足度の向上に努める。また、シフト制による交替勤務のある各生涯学習市民センターにおいては、併せて、業務日誌などを活用し、適切な引継ぎを行う。
事業における効率的従事体制	イベント等の事業が多いため、より効率的な事業運営を行い、最小限の人員による従事体制とする。
文書及び電子データの適正な管理	事務文書の系統別分類等による適正な管理により、業務の効率化を図る。

V 広報・情報発信

◆産・学・医療・福祉の連携による新たな医療産業の創出や文化芸術の拠点整備に向けた取り組み、農業学校の開設など産業、文化、生涯学習に係る施策・事業について、ホームページやツイッター等のSNS、地域メディアをはじめ、専門紙や業界紙など様々なメディアを活用して、市民や事業者、団体等に向けて効果的に発信し、本市の魅力向上を図ります。また、定期的に開催している各種団体との意見交換会などを通じて、制度や施策の周知を図り、市民の理解を深めるよう努めます。

III 予算編成・執行

- ◆総合文化施設の整備や農業の振興において、国の社会資本整備総合交付金の活用や国庫補助事業の活用など財源確保に向けた取り組みを進めます。
- ◆委託内容・仕様の見直しやこれまでの実績を踏まえて補助金額の精査などを行い、より効率的な予算編成・執行管理に努めます。
- ◆新電力の導入等により、コスト削減に努めます。

IV 組織運営・人材育成

- ◆組織の目標達成と業務の円滑な遂行のため、日々のコミュニケーションを通じて業務分担・役割の相互理解に努めます。また、事業構築や課題整理、関係団体や市民との連携においては、コーディネート能力が不可欠であるため、実践経験の中で、中堅職員がサポートしながら、若手職員の育成に取り組めます。